

美里繚子

MISATO RYOHIKO

中村晴子

原作

NAKAMURA HARUKO

近親相姦!?!
祖父と義兄に
襲われて



僕にも
させろよ

親父が
綾姉さんに
してたみたいな
こと…

その
セックスの
真似事は

何年も
続いた—

オイ
貴!

知ってるか?

林先生
死んだってさ

え!?

なんでも
小さい娘を抱えて
ずいぶん苦勞して
るらしいぜ

おまえの「綾さん」

仕送り
したいなら
金をやろうか?

アミアルバイト
するからいい!!

アミアル

それより
住所を…

綾さんの住所を
教えてくれ!!

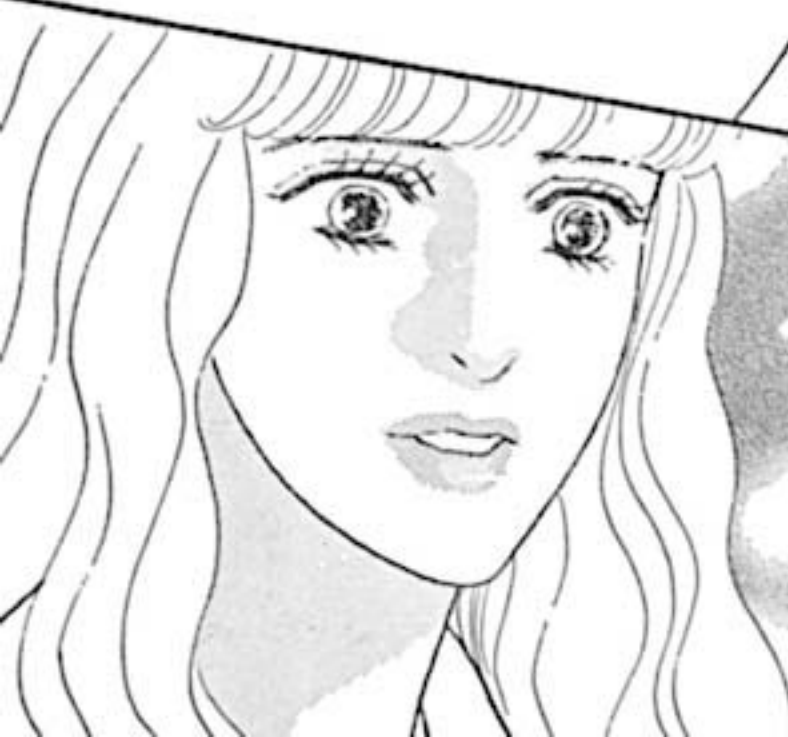
もちろん
教えてやるさ

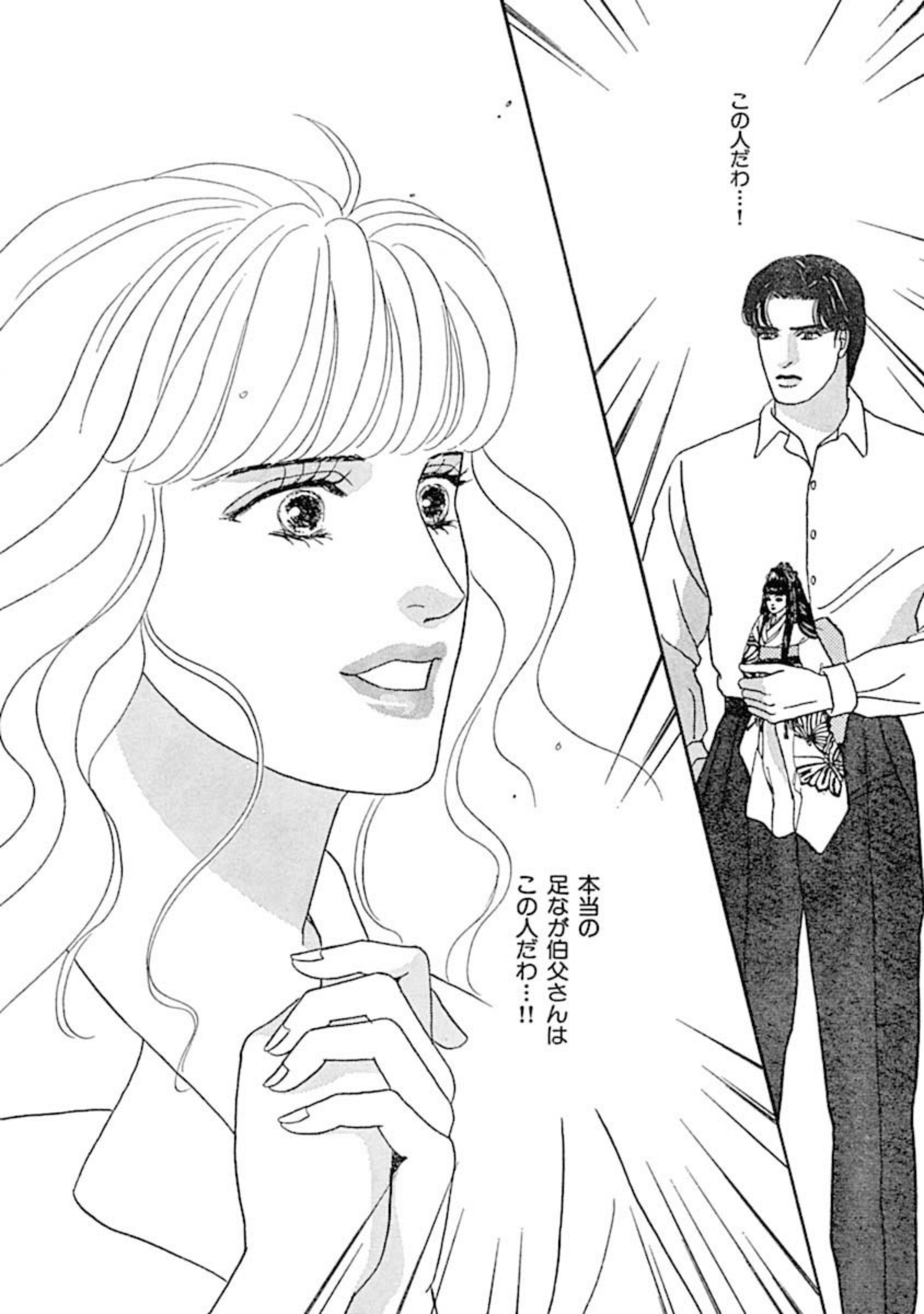
その代わり—

…それから

僕は君あてに
金を送り始めた


間違い
ない…!






この人だわ…!!


本当の
足なが伯父さんは
この人だわ…!!



高校生の
バイト代なんて
たかが知れてるから




最初は
ごくわずかな
金額しか
送れなかった



でも俺は
うれしかったん
だよ

初めて
誰かのために
生きてる実感が
持てたからね



だからって
15年もの間
送金を…

貴さん

あなたは
それほどまでに
母さんのことを…？

綾さんの
ためじゃない

え？


確かに最初は
綾さんへの
同情からだった

だけど毎月
彼女が送ってくれた
この写真——

この15年

君の写真だけが
俺の生きる支えに
なってくれた






孤児となり

昼間は
高宮夫人と
和也にいいように
使われながら


夜になると
この小屋に来て
泣く日々――



そんな時

この写真は
いつも俺に
ささやいてくれた

俺はひとりじゃ
ない――と



この写真の中の
君だけが……

私もよ

貴さん…!!



私…も

父さんを失い
母さんと
2人だけの日々——



その母さんさえ
いなくなり

涙も出ないほどの
辛さに耐えて
これたのは

足なが伯父さんが
いてくれたから

ずっと君に
恋してた……!

写真の中で
どんだんきれいに
なっていく君に……!



私もよ…
貴さん

私も

いつもあなたの
ことばかり
考えていたわ

想像だけの
“足なが伯父さん”を

愛していた…!!

知りたい

写真ではない
本当の君を…!!

あ…





きれいだよ...
麻由



熱い…!!

あッ

あ



い…やじや
ないわ

ただ
恥ずかしい
だけ…

いや？

熱くて
熱くて

体が
溶け出しそう……

でも…
もっと



もっと
あなたを
感じたい……!

あなたの
すべてを……!!

2人の体が
溶けて

ひとつに
なるまで——

麻由……っ





そう——

麻由……

もう2度と
離さない

貴さん……

本当は
私たちがずっと
ひとりじゃなかった



1度も
会ったことが
なくても

遠く離れて
いても


私たちはずっと
一緒だった




このまま
どこかに行こう

うれしい……!


あの
人形たちの
ように……!



そうは
させないぞ!!



和也…!!



勝手な真似は
許さない!

麻由は
僕のものだ…!!

徹夜で捜した
かいたったぜ

こんな所に
いたとはな



貴
だけどね

僕は
おまえのことも
手離すつもりは
ないんだ



これから
僕たちは

この家で
なかよく
暮らすんだよ

おまえは僕の
顧問弁護士と
して…

やめて!!

貴さんを
放して!!



おだまり!

おまえは和也の
嫁になるん
だから

もう少し
お行儀よく
したらどう?

和也

さつさと婚礼を
すませておしまい

そうだな

さあ麻由

いい子にして
いるんだぞ

い
嫌!!

よせ!!

やめろ
和也!!